

5.10 人と自然との触れ合いの活動の場

人と自然との触れ合いとは、過度に自然に影響を及ぼすことなく自然と共生し、それを観察、利用することにより、自然の持つ効用等を享受することであり、具体的には以下のものが該当すると考えています。

登山、トレッキング、ハイキング、森林浴、散策、サイクリング、オリエンテーリング、自然観察、バードウォッチング、ピクニック、キャンプ、花・新緑・紅葉などの鑑賞等

再生事業後には、触れ合い活動の場の縮小・消滅又は利用性・快適性の変化が考えられるため、事業実施区域及びその周辺並びに吉野川下流区間に分布する触れ合い活動の場の「改変の程度」、「利用性の変化」及び「快適性の変化」について調査、予測及び評価を行いました。

5.10.1 調査手法

調査地域は事業実施区域の境界から 500m 程度の範囲及び事業実施区域から下流の銅山川合流前までの吉野川としました。調査地点は主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況を適切かつ効果的に把握できる地点としました。

主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、不特定かつ多数の者に利用されている次の 16 地点・地域としました。

なお「ダム本体」は、「ダム事業における環境影響評価の考え方」によれば、活動の場としては対象外となりますが、早明浦ダムは訪れる方も多く、地元では観光資源としての利用されていることを考慮して、事業者としては本事業による影響の予測・評価、事業者としての配慮事項を参考としてとりまとめるものとしました。

表 5-92 人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点

調査項目	調査地点
主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況	吉野運動公園、中島児童公園、ダム本体、右岸展望台、左岸展望台、さめうら荘周辺（森林公園）、貯水池湖岸Ⅰ、吉野川、汗見川、上街公園、若宮公園、帰全山公園、帰全山キャンプ場、大歩危遊覧船、大歩危峡・小歩危峡、施餓鬼

表 5-93 人と自然との触れ合いの活動の場の調査手法、調査期間

調査すべき情報	調査手法	調査期間
人と自然との触れ合いの活動の場の概況、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況利用環境の状況	利用状況の把握	【秋季】平成 30 年 11 月 16 日～17 日 【冬季】平成 31 年 2 月 15 日～16 日 【春季】令和元年 5 月 13 日～14 日 【夏季】令和元年 8 月 10 日

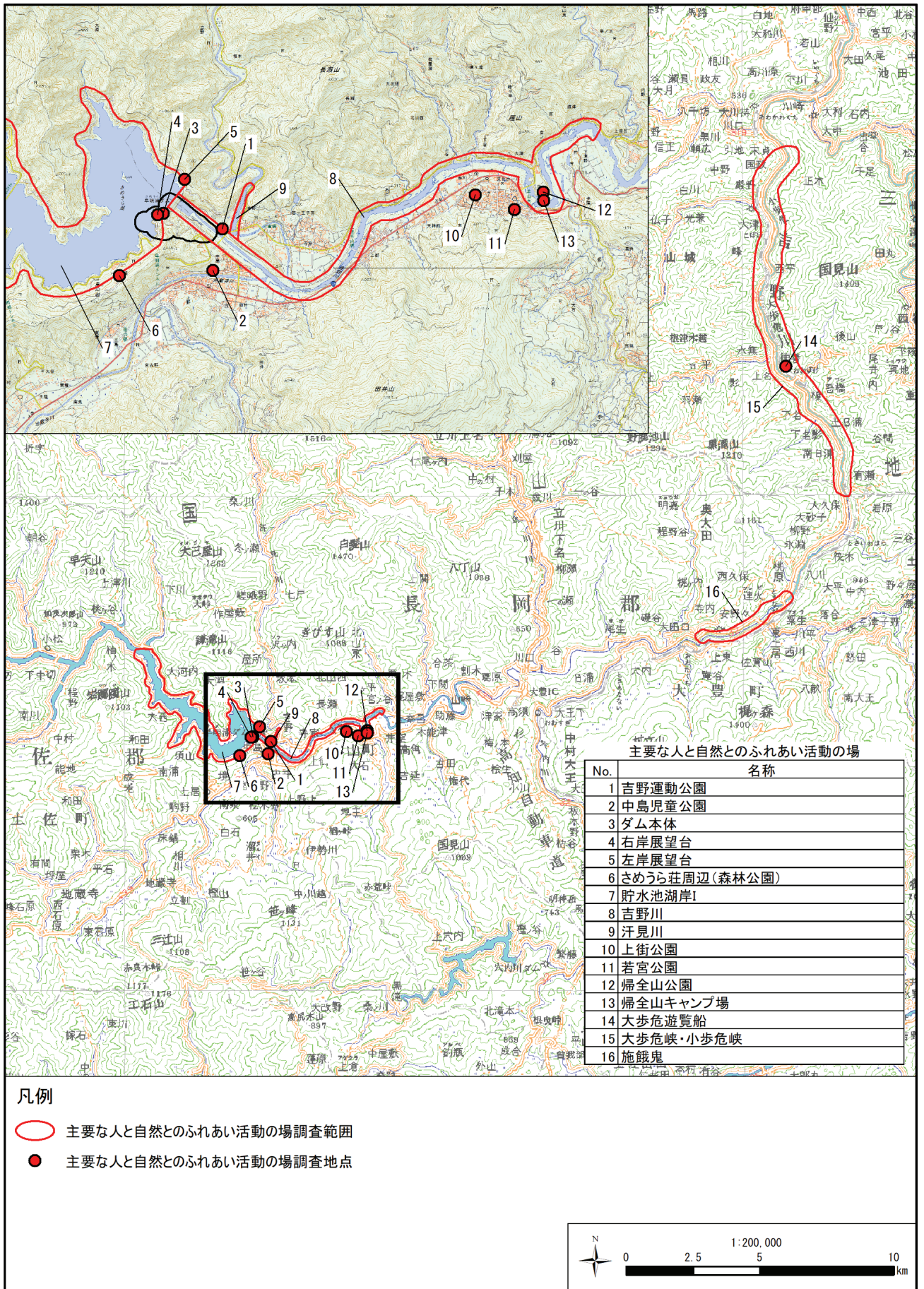


図 5-44 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点



1.吉野運動公園



2.中島児童公園



3.ダム本体



4.右岸展望台



5.左岸展望台



6.さめうら荘周辺（森林公園）



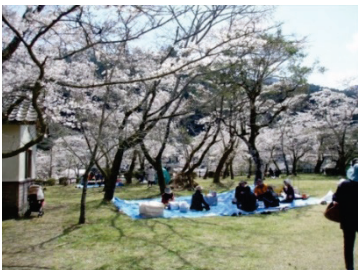
7.貯水池湖岸Ⅰ



8.吉野川



9.汗見川



10.上街公園



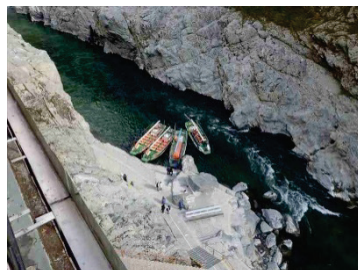
11.若宮公園



12.帰全山公園



13.帰全山キャンプ場



14.大歩危遊覧船



15.大歩危峡・小歩危峡

5.10.2 調査結果

人と自然との触れ合いの活動の場の調査で確認された、主な利用形態は表 5-94 に示すとおりです。

表 5-94 人と自然との触れ合いの活動の場の主な利用形態

主要な人と自然との触れ合いの活動の場	種類	主な利用形態
吉野運動公園	公園	散策・休息、スポーツ
中島児童公園	公園	散策・休息、スポーツ
ダム本体	展望地	散策・休息
右岸展望台	展望地	散策・休息
左岸展望台	展望地	散策・休息
さめうら荘周辺（森林公園）	キャンプ場	キャンプ
貯水池湖岸Ⅰ	湖畔空間	釣り、散策・休息
吉野川	河川空間	カヌー、ラフティング、川遊び、釣り
汗見川	河川空間	カヌー、川遊び、釣り
上街公園	公園	花見、散策・休息
若宮公園	公園	花見、散策・休息
帰全山公園	公園	散策・休息、ピクニック
帰全山キャンプ場	キャンプ場	キャンプ、川遊び、釣り
大歩危遊覧船	河川空間	遊覧船
大歩危峡・小歩危峡	河川空間	カヌー、ラフティング、川遊び、釣り
施餓鬼	河川空間	施餓鬼

※ダム本体については、「施設又は場」の大部分が人工的に創出されたものであり、人工的に維持されているものであるため、予測の対象からは除外した。ただし、早明浦ダムは訪れる方も多く、地元では観光資源としての利用されていることを考慮して、影響予測評価を参考として整理した。

5.10.3 予測手法

予測対象とする影響要因と予測手法を表 5-95 に示します。

予測の基本的な手法は、「工事の実施」については、工事の実施内容と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況等を、「土地又は工作物の存在及び供用」については、早明浦ダム再生事業の存在及び供用と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況等を踏まえ、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の改変の程度、利用性の変化及び快適性の変化について、予測しました。

表 5-95 (1) 影響要因と予測の基本的な手法、予測対象時期

影響要因		予測の基本的な手法	予測対象時期等
工事の実施	変更の程度	主要な人と自然との触れ合いの活動の場と事業計画を重ね合わせるにより、変更の程度を予測しました。	変更の面積、延長等が最大となる時期
	利用性の変化	利用面積の変化	利用性の変化が最大となる時期
		アクセス性の変化	
	快適性の変化	騒音の程度	快適性の変化が最大となる時期
		水質の変化	

表 5-95 (2) 影響要因と予測の基本的な手法、予測対象時期

影響要因		予測の基本的な手法	予測対象時期等
土地又は工作物の存在及び供用	変更の程度	主要な人と自然との触れ合いの活動の場と事業計画を重ね合わせるにより、変更の程度を予測しました。	供用時
	利用性の変化	利用面積の変化	
		アクセス性の変化	
	快適性の変化	近傍の風景の変化	
		水質の変化	
		水位の変化	

5.10.4 予測結果

人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果を表 5-96、表 5-97 に示します。

表 5-96(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果概要（工事の実施）

予測対象		影響要因		工事の実施			
				・放流施設の増設等工事		・建設発生土の処理の工事	
				・工事用道路の設置の工事		利用性の変化	
判断基準	主要な人と自然との触れ合いの活動の場 下段：主な利用形態	変更の程度		利用面積		利用面積	
		活動の場と直接 変更区域の重ね 合わせより判断	活動の場と直接 変更区域の重ね 合わせより判断	活動の場と直接 変更区域の重ね 合わせより判断	活動の場と直接 変更区域の重ね 合わせより判断	活動の場へのアクセスル ートと工事用道路の重ね 合わせより判断	活動の場へのアクセスル ートと工事用道路の重ね 合わせより判断
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	吉野運動公園 散策・休息、スポーツ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	中島児童公園 散策・休息、スポーツ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	ダム本体 散策・休息	○	変更はない	■	自由な立入りができないことから、 利用面積は減少する	■	自由なアクセスはできなくなると予測される
	右岸展望台 散策・休息	○	変更はない	■	自由な立入りはできず、 利用できなくなると予測される	■	交通規制がかかりアクセスが できなくなると予測される。
	左岸展望台 散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	さめうら荘周辺（森林公園） キャンプ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	貯水池湖岸Ⅰ 釣り、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	吉野川 カヌー、ラフティング、川遊び、 釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	汗見川 カヌー、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	上街公園 花見、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	若宮公園 花見、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	帰全山公園 散策・休息、ピクニック	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	帰全山キャンプ場 キャンプ、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	大歩危遊覧船 遊覧船	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
	大歩危峡・小歩危峡 カヌー、ラフティング、川遊び、 釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される
施餓鬼 施餓鬼	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと 予測される	

表 5-96(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果概要（工事の実施）

予測対象		工事の実施				
		影響要因		建設発生土の処理の工事		
		・放流施設の増設等工事 ・工事中道路の設置の工事				
		快適性の変化				
		騒音		水質		
判断基準	主要な人と自然との触れ合いの活動の場 下段：主な利用形態	事業実施区域からの距離で判断 ※静穏性を求める利用(散策・休息、釣り)が対象 ※3km以上離れる場合(60db以下となり)は対象外		親水性を伴う活動の有無で対象を判断。 ※工事箇所より下流に位置する場合は水質が変化するが、影響は小さい。 ※工事箇所より上流は水質変化は影響なし。		
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	吉野運動公園 散策・休息、スポーツ	■	散策・休息	工事箇所の近傍であり、工事騒音により快適性は変化する。	—	親水性を伴う活動はない
	中島児童公園 散策・休息、スポーツ	△	散策・休息	工事箇所との間に尾根筋があり、工事騒音が直接聞こえないことから影響は小さいと考えられる。	—	親水性を伴う活動はない
	ダム本体 散策・休息	■	散策・休息	工事箇所の近傍であり、工事騒音により快適性は変化する。	—	親水性を伴う活動はない
	右岸展望台 散策・休息	■	散策・休息	工事箇所の近傍であり、工事騒音により快適性は変化する。	—	親水性を伴う活動はない
	左岸展望台 散策・休息	■	散策・休息	工事箇所の近傍であり、工事騒音により快適性は変化する。	—	親水性を伴う活動はない
	さめうら荘周辺 (森林公園) キャンプ	—		静穏性を求める活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	貯水池湖岸Ⅰ 釣り、散策・休息	△	釣り、散策・休息	工事箇所との間に堤体があり、工事騒音が直接聞こえないことから影響は小さいと考えられる。	○	釣り 水質の変化に及ぼす行為はない(工事箇所より上流の貯水池内)
	吉野川 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	■	釣り	工事箇所の近傍であり、工事騒音により快適性は変換する。	△	カヌー、ラフティング、川遊び、釣り 水の濁りは発生するものの、支川合流後は変化は小さい
	汗見川 カヌー、川遊び、釣り	△	釣り	工事箇所との間に尾根筋があり、工事騒音が直接聞こえないことから影響は小さいと考えられる。	○	カヌー、川遊び、釣り 水質の変化に及ぼす行為はない(下流で合流する支川の上流)
	上街公園 花見、散策・休息	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	—	親水性を伴う活動はない
	若宮公園 花見、散策・休息	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	—	親水性を伴う活動はない
	帰全山公園 散策・休息、ピクニック	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	—	親水性を伴う活動はない
	帰全山キャンプ場 キャンプ、川遊び、釣り	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	△	川遊び、釣り 水の濁りは発生するものの、合流後は変化は小さい
	大歩危遊覧船 遊覧船	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	△	遊覧船 水の濁りは発生するものの、合流後は変化は小さい
	大歩危峡・小歩危峡 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	△	カヌー、ラフティング、川遊び、釣り 水の濁りは発生するものの、合流後は変化は小さい
施餓鬼 施餓鬼	—		3km以上離れており工事に伴う騒音が減衰され、影響は想定されない	△	施餓鬼 水の濁りは発生するものの、合流後は変化は小さい	

表 5-97(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果概要
(土地又は工作物の存在及び供用)

予測対象		土地又は工作物の存在及び供用					
		影響要因			利用性の変化		
		・導流壁及び減勢工等の存在 ・道路の存在			・建設発生土受入地の存在 ・再生事業後の供用		
		変更の程度		利用面積		アクセス	
判断基準	主要な人と自然との触れ合いの活動の場 下段：主な利用形態	活動の場と直接変更区域の重ね合わせより判断		活動の場と直接変更区域の重ね合わせより判断		活動の場へのアクセスルートと工事用道路の重ね合わせにより判断	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	吉野運動公園 散策・休息、スポーツ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	中島児童公園 散策・休息、スポーツ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	ダム本体 散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	右岸展望台 散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	左岸展望台 散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	さめうら荘周辺 (森林公園) キャンプ	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	貯水池湖岸Ⅰ 釣り、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	吉野川 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	汗見川 カヌー、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	上街公園 花見、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	若宮公園 花見、散策・休息	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	帰全山公園 散策・休息、ピクニック	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	帰全山キャンプ場 キャンプ、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	大歩危遊覧船 遊覧船	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
	大歩危峡・小歩危峡 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される
施餓鬼 施餓鬼	○	変更はない	○	活動の場に変化はない	○	アクセスルートは確保されるものと予測される	

表 5-97(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果概要
(土地又は工作物の存在及び供用)

予測対象		土地又は工作物の存在及び供用					
		影響要因		快適性の変化			
				近傍風景	水質	水位	
判断基準	主要な人と自然との触れ合いの活動の場 下段：主な利用形態	活動の場の周囲 500m の範囲における改変の有無で対象を判断。 視認できない場合は影響なし		親水性を伴う活動の有無で判断 ※早明浦ダムより下流に位置する場合は水質が変化するが、影響は小さい。 ※早明浦ダムより上流は水質変化は影響なし。	親水性を伴う活動の有無で判断 ※早明浦ダムより下流に位置する場合は水位が変化するが、影響は小さい。 ※早明浦ダムより上流は水位変化は影響なし。		
主要な人と自然との触れ合いの活動の場	吉野運動公園 散策・休息、スポーツ	△	景観の変化はほとんどなく、眺望状況を損なうことはないと予測される	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	中島児童公園 散策・休息、スポーツ	○	事業改変地が視認できないため、影響はない	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	ダム本体 散策・休息	△	景観の変化はほとんどなく、眺望状況を損なうことはないと予測される	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	右岸展望台 散策・休息	△	景観の変化はほとんどなく、眺望状況を損なうことはないと予測される	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	左岸展望台 散策・休息	△	景観の変化はほとんどなく、眺望状況を損なうことはないと予測される	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	さめうら荘周辺 (森林公園) キャンプ	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	貯水池湖岸Ⅰ 釣り、散策・休息	○	事業改変地が視認できないため、影響はない	○	ダム貯水池においては水質の変化は想定されないことから、変化はない	○	洪水調節方式は事業前と変わらないことから、変化はない
	吉野川 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	△	緑化により周辺と調和するため、影響は小さいと考えられる	△	水質の変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	△	水位変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される
	汗見川 カヌー、川遊び、釣り	○	事業改変地が視認できないため、影響はない	○	水質の変化に及ぼす行為はない (下流で合流する支川の上流)	○	水位の変化に及ぼす行為はない (下流で合流する支川の上流)
	上街公園 花見、散策・休息	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	若宮公園 花見、散策・休息	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	帰全山公園 散策・休息、ピクニック	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	—	親水性を伴う活動はない	—	親水性を伴う活動はない
	帰全山キャンプ場 キャンプ、川遊び、釣り	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	△	水質の変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	△	水位変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される
	大歩危遊覧船 遊覧船	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	△	水質の変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	△	水位変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される
	大歩危峡・小歩危峡 カヌー、ラフティング、川遊び、釣り	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	△	水質の変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	△	水位変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される
施餓鬼 施餓鬼	—	活動の場の周囲 500m の範囲は改変しない	△	水質の変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	△	水位変化による快適性の変化は小さいと予測され、活動は維持される	

表 5-98 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果まとめ

項目		予測結果の概要	環境保全措置の検討 ^{※1}
工事の実施	ダム本体 右岸展望台	工事の実施に伴い、主な活動の場に改変はないものの、自由な立入は制限されることから、活動への影響があると予測されます。また工事中の騒音により快適性に影響があると予測されます。	○インフラツーリズム 開催 ○騒音・振動 影響の低減
	吉野運動公園 左岸展望台 吉野川	事業による主要な活動の場に改変はないものの、工事中の騒音により快適性に影響があると予測されます。	○騒音・振動 影響の低減
	上記以外	事業による主要な活動の場に改変はなく、利用性及び快適性の変化についてもない又は小さいことから、活動への影響は小さいと予測されます。	—
土地又は工作物の存在及び供用	全て	事業による主要な活動の場に改変はなく、利用性及び快適性の変化についてもない又は小さいことから、活動への影響は小さいと予測されます。	—

※1 「—」は環境影響予測の結果、影響は小さいと考えられるため、環境保全措置の検討を行わない項目を示します。

5.10.5 環境保全措置の検討

事業により影響があると予測されたダム本体、右岸展望台、吉野運動公園、左岸展望台、吉野川については、環境保全措置を検討しました。環境保全措置の内容は表 5-99 に示すとおりです。

表 5-99 人と自然との触れ合い活動の場の環境保全措置

項目		環境保全措置の検討
工事の実施	ダム本体 右岸展望台	○インフラツーリズムの開催 工事現場の見学会を開催し、ダム見学者の利用性を確保します。 ※見学会では、早明浦ダム再生事業の必要性や環境への取り組みも周知します。 ○騒音・振動影響の低減 低騒音・低振動型建設機械、低騒音・低振動の工法を採用し、極力低減します。 民間企業の技術(新技術)の活用を検討します。
	吉野運動公園 左岸展望台 吉野川	○騒音・振動影響の低減 低騒音・低振動型建設機械、低騒音・低振動の工法を採用し、極力低減します。 民間企業の技術(新技術)の活用を検討します。

5.10.6 評価の結果

人と自然との触れ合いの活動の場は、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況について調査、予測を実施しました。

「工事の実施」による人と自然との触れ合いの活動の場に与える影響は、利用性の変化の観点からは、工事に伴い「ダム本体」及び「右岸展望台」への自由な立ち入りが制限され、当該の場において利用性の変化が大きいと予測されたため、環境保全措置を検討し、インフラツーリズムの開催等により、工事中の利用性を確保する予定です。

また、快適性の変化の観点からは、工事中の騒音により快適性が変化すると予測されたため、環境保全措置を検討し、低騒音・低振動型建設機械、低騒音・低振動の工法の採用や民間企業の技術(新技術)の活用を検討し、極力低減する予定です。

「土地又は工作物の存在及び供用」による人と自然との触れ合いの活動の場に与える影響は小さいと考えられます。

以上のことから、人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されると判断しています。